

Libra I on

vol.27

りぶらいおん

<http://www.libra-sc.jp>

特集：① りぶらフォーラム 2012 報告
② どう変わった？ 図書館システム



- 愛知県第18回[人にやさしい街づくり賞]受賞
- りぶら生涯学習情報
- りぶら中央図書館情報
- 私の一冊 vol.21
- 市民活動団体紹介 ワンボイス
- りぶらサポーター紹介 村松美智子




岡崎市図書館交流プラザ

図書館交流プラザ(愛称:Libra)は、「図書館」「活動支援」「文化創造」「交流」の4つの機能で構成されています。りぶらサポータークラブ(LSC)は、Libraの施設活用をサポートする活動をしています。





「りぶら講座」から始まるりぶらの使い方 ～使わにゃソン、ソン！りぶら5段活用術～

りぶらにおける様々な活動の一年を締めくくる「りぶらフォーラム」。今年は3月3日の午後1時から2時間をかけ、36名の参加を得てりぶらホールで開催されました。

りぶら講座を中心に参加者とともに

中心となるテーマは、2012年度からスタートした「りぶら講座」。基盤となっているのは、岡崎市が策定した「第二次生涯学習計画」にある「持続可能な学びのサイクルの実現」です。この計画は平成23年度～32年度までの10年間で取り組むもので、「りぶら講座」は、これを具体的な事業とするために企画されました。LSCは実行のパートナーとして講座の運営を担ってきました。

この一年で、前期・後期あわせて105の講座が設けられ、この日までに1,253人の受講者があり、参加者の反応も「とても良かった」が75%となかなか好評でした。この日も講座で講師を務めた方や実際に受講した皆さんが顔を出して下さいました。継続開催を望む声も半数以上あり、「受講して良かった」が大半を占めたことから、次年度も開催することが決まっています。

フォーラムは、総合館長である米津氏の挨拶を得て、メインのパネルディスカッションへ。パネラーは、「りぶら講座」の市の担当職員である早川氏、運用上の管理を請け負っている「まち育てセンター・りた」の鈴木さん、図書館職員である今泉さん、そしてLSCの副代表である杉浦の4人です。司会とコーディネイトはLSC顧問の戸松が務めました。



パネルディスカッションに先立って、りぶら講座の様子をスライドショーを交えて紹介しました。また、できるだけ肩の凝らない雰囲気の中で、立場や肩書きなどに縛られずに自由な発言をしていただこうと、いくつかのルールを示しました。参加者の皆さんにも質問用紙を配布し、パネルの進行に合わせてご意見をいただける環境を整えました。

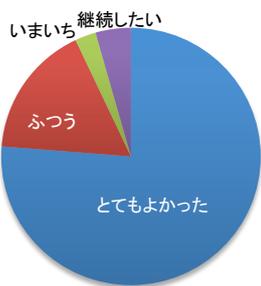
緩やかな対話から自然に意義深い内容へ

りぶらフォーラムのパネルディスカッションでは、ダイアログ（対話）という手法を使っています。テーマは決めておきますが、明確なゴールは決めません。それぞれがお互いの発言に触発されて自由に生み出す情報を、ゆっくりと重ね合わせながら、相互に関心を持っている内容へと迫っていきます。毎回、何が飛び出すかわかりませんが、自然に意義深い内容になっていくから不思議です。

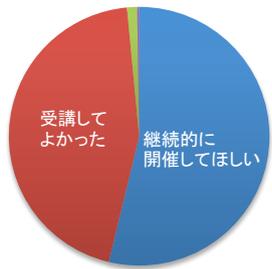
この日も、皮切りはパネラーからの「りぶら講座」に対する思いや、開催中に経験をしたことなどが紹介され、だんだんとテーマの核心に近づいていきました。今回のパネルで特徴的だったのは、会場からかなり踏み込んだ具体的な発言があったことです。質問者の多くは講座で講師を務めた方々で、実際的な課題を共有しながら話し合いを進めることができました。まとめとして、パネラーと参加者がともに生み出した、いくつかのアイデアをご紹介します。



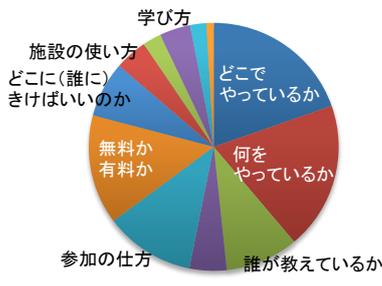
前期「りぶら講座」参加者のアンケート



参加した感想



今後の開催について



受講する理由



司会 戸松啓二 りぶらサポータークラブ

フォーラムから生まれたアイデア

「りぶら講座」で学んだことを「情報大航海術」で発表する

これは「図書館の利用度を高めるにはどうしたらいいのか」という質問から発展したアイデアです。「情報大航海術」とは、自分でテーマを設定して体系的に調べ発表する「学び方を学ぶ」学習術のこと。今も「狂言」をテーマにした調べる学習会を行っており、LSCとして今後も継続的に取り組む予定です。「りぶら講座」とカップリングすることで、学ぶ人が自然に図書館の資料を活用する流れを作ることができます。

施設や備品の使い方について事前に学べる講座を開催する

実際に講師が一番困ったのが、施設や設備への不慣れでした。現実的な対応方法としては、窓口気軽に問い合わせていただくのが一番です。同時に「りぶらでの教え方講座」のようなものを開催して、りぶらの一般的な利用の仕方を知る機会を増やすというアイデアも生まれました。

もっとみんなに「りぶら講座」を知ってもらう工夫

「りぶら講座」は十分に市民に知れ渡っているとはいえません。経費がかからず効果を期待できる方法として、「回覧板」「口コミ」が注目を集めました。中には「公的な講座だからPRは

ほどほどにすべきでは」という遠慮がちな声もありましたが、そんな心配は不要です。講師や受講者が総代会などに働きかけ、それぞれの地域で根を張るように広まることが期待されます。どんどんPRしましょう！

自分たちで作る新しい市民講座の形

一部の講師には、昔ながらの「センセイ」のイメージを抱いていた人もいたようですが、ここは講師と受講生が同じ市民という立場で作る学びの場です。教える側と教わる側のマナーは必須ですが、会場の準備など自ら行うことがたくさんありますので、主旨とルールが改めて紹介されました。

チャンスをたくさん！ 続きは講師自身と受講生で

「りぶら講座」は1回だけの入門・体験講座が基本です。そこから先の継続的な学びの場は、講師と受講生が自らの手で生み出して行くことが前提です。「りぶら」は市民にとって大きな影響力を持った学びのブランドとなりつつあります。しかも、図書館・ホール・スタジオ・工作室・調理室・会議室・印刷整備など、充実した環境を持っています。この可能性を活かした新たな講座への取り組みが期待されます。

参加者の感想

「教える側の講座」開催を期待しています。講師の責任を痛感しました。「りぶら講座」以外のことも知ることが出来た。

受講者の熱心さに驚いている。受付の方に感謝している。10年先を見据えて、慌てずに続けるのが大事。昨年パネル展示もやってほしかった。

自分次第で、りぶらがワクワクする場所として活用できるというのは、すばらしいことです。これからも足を運びたいし、周りにも広めていくつもりです。

「りぶら講座」のことを知らない

人が多かった。図書館に来ないとかわからないではいけない。チラシをいろいろな場所に置いたらよいと思う。受講者の感想を知りたい。

参考になりました。これから活用していきます。

りぶら講座の講師としての専門家を養成したらいいと思う。OHPが無いのが残念。申込者が当日現れない。講座内容により適正な時間を考える。講師になる動機として、仲間や友達作りも考えられる。図書館と利用者の関係は、活字供給者と消費者である。活字生産者を育みることが必要。参加者のデータベース化もおもしろい。

「講師も学びの参加者」という考え方が新しいと思う一方、大学生・大学の学びと通じる物があると思った。「高校生向け」の試みがよい。そこに図書館との連携があったらいいと思う。「図書館利用への動機付け」の推進には賛成です。

半学半教が大切（先輩が後輩を教え学ぶ）。自らが進んで積極

的に参加する行動力。前向きな考え方をもち、言うだけでなく、実践することが大切。自ら求めると言うことが重要。

先日の映画上映会は盛況であった。上映回数を増やしてほしい。

今日は大変良い勉強になりました。今後に活用していきたいと思います。

【りぶらの5段活用術】

- ・自由と自己責任で生涯学習を突きつめて！：早川
- ・学ばない、学ぶとき、学べば、学ぼう、学べ：鈴木
- ・講座と図書館は学びの種を見つける場：今泉
- ・恵まれている施設の可能性を活かす：杉浦
- ・生涯学習は誰かの役に立つ大人の学び：戸松



早川喜晴 文化活動推進課



鈴木千鶴 市民活動センター



今泉みどり 中央図書館



杉浦仁美 りぶらサポータークラブ



岡崎市立中央図書館の 新しい図書館システムを見てきました

岡崎図書館未来企画

2013年の年初から動き始めた新しい図書館システム。そろそろ落ち着いた頃かな……ということで、LSC 岡崎図書館未来企画のメンバーで見学をしてきました。「システム」なんていう言葉を聞くと、なんだか難しそうだなあ〜と思ってしまいますよね。なので、できるだけわかりやすくするために、訪問レポート的にまとめてみました。一緒に図書館の裏側をのぞきに行くつもりでご覧ください。

賑やかなサーバールームへ

未来企画のメンバーと対応してくれた主担当のTさんが待ち合わせたのは、メインとなるカウンターのバックヤード。利用者からは見えませんが、図書清掃のボランティアなどをやっているLSCのメンバーには、おなじみの空間です。数人のスタッフさんが、たくさんの本を分類・整理しています。

その中を抜けて向かったのが、事務室の奥にあるサーバールーム。ちょっとひんやりした空気の中、図書館にはかなり賑やかな音が充満していました。私たちがふだん使っているコンピュータはとても静かになりましたが、多くのデータを扱うサーバ専用のコンピュータは、防音よりも安定性を重視するために、なかなか賑やかなのです。

ここでメンバーに新図書館システムと旧図書館システムの違いを示す図が配ら

れ、概要の説明が始まりました。それがページ下の二つの図です。図に従って説明してみましょう。

ネット系はクラウド環境へ

新しいシステムの特長は、ホームページやメールなどインターネットを使ったサービスが、図書館とは別の場所にあることです。私たちが説明を聞いているサーバールームには、たくさんのコンピュータがありますが、ここにはないんですね。そうすると、二つの疑問がわいてきます。まず、「別の場所ってどこ？」ということ。そして「ここにあるコンピュータには何がはっているの？」ということ。

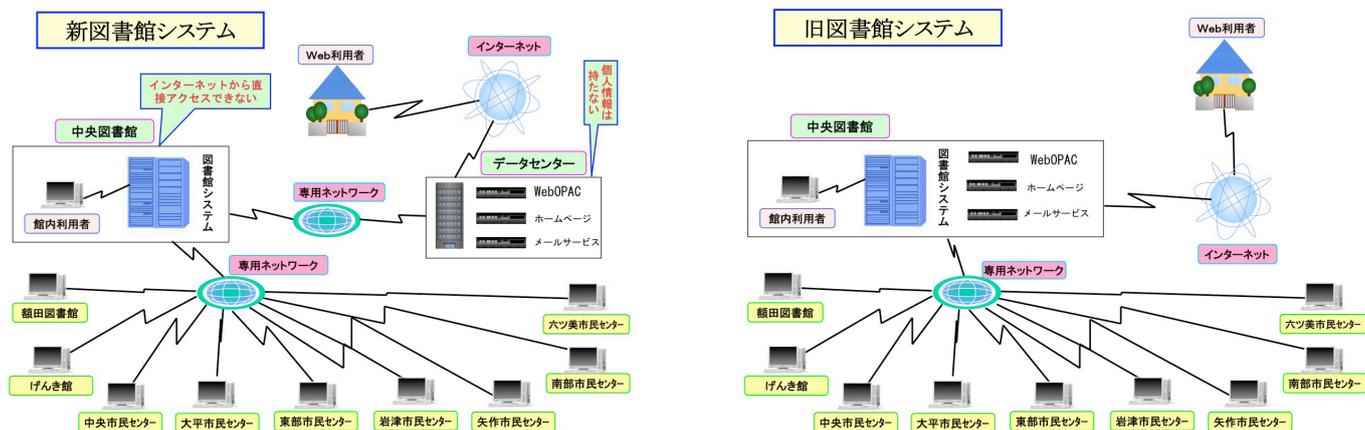
別の場所は、最近流行の「クラウド」にあるそうです。文字通り雲（クラウド）をつかむような話ですが、要は民間の専門業者がやっている、とても大きな規模のデータセンターという場所にあって、



24時間365日の監視付きで動いているとのこと。なにか異常が発生したときには、専門知識をもった人たちがすぐに反応し、図書館と連携して対応を進めることになっています。ただし、このデータセンターには利用者個人に関する情報はありません。その貴重な情報を納めているのが、図書館内のサーバールームでうなりを上げているコンピュータたちです。

館内サーバとクラウドを組み合わせる

サーバールームにあるのは、図書館を運営するために必要な書籍や利用者に関する情報です。大切な情報なので、普通のインターネットからは入れないようにしています。でも、図書館のホームページで個人的に本の予約などができますよね。なぜ、それができるかというと、データセンターとサーバールームの図書館シ



システムはVPNと呼ばれる専用のネットワークで結ばれているからです。そこでは、必要に応じて必要なデータだけをやりとりするようにすることで、安全性と利便性を両立させているのです。

この方式は、大きな災害時にも有効です。もし回線が切れてしまっても、図書館自体は独立してサービスを続けることができるからです。相互にバックアップを取ってデータを保全することもできます。おそらく、この方式をとる自治体の図書館は、国内では岡崎が初めてだろうとのことでした。

地下の自動書庫との連携

続いて足を運んだのは、図書館の地下にある閉架の自動書庫です。いかにも仕事用というコンクリートの地肌がむき出しになった階段を降り、鉄の扉を開けて中に入ると、ちょっとしたSF映画に出てきそうな不思議な空間が広がっていました。かなり高さのある薄暗い空間を見上げると、先ほどのバックヤードで見た本を満載したコンテナが並んでいます。カウンターからのリクエストで、このコンテナが動いてお目当ての資料を運んでくれるわけです。

そのための情報は、すべて先ほどのサーバーームに入っています。あそこここをつなげるのが、これまた無愛想な制御盤。まるでホースのようなケーブルがたくさん集まって入っていました。しばらくポカンと眺めていましたが、サー



バルームを超える冷え込みに早々に退散することに。図書館の裏側はなかなかクールです。

コストダウンのための工夫

階段を上がってもう一度、最初のバックヤードに戻り、本を分類する機械の元へ。先ほどの自動書庫にしる、分類用の機械にしる、それだけでかなりのお値段になる専用の設備です。今回の導入で特に気を遣ったのは、こうした機器の流用でした。旧システムで使っていた物に併せてシステムを調整することで、余分な経費を抑えたのです。

システムについても、初期費用からバージョンアップ、ランニングコストに至るまで、できるだけ節約できるように取り組んだそうです。そのために最初にやったのは、図書館の業務を細かく分析すること。このあたりの様子は私たちも身近に見ていましたが、時間をかけて丁寧にやっているなぁと思っていました。いろいろ調べて考えて、担当者として決めたのは「できるだけ必要な機能が標準でついていること」だそうです。

標準であれば、バージョンアップとともに高機能化されていくし、バージョンアップの費用自体も抑えられ、ランニングコストが削減できます。実際に今回のシステムは、岡崎市が要求した389項目の機能要件に対して、標準機能で355項目を備えていたとか。オプションは17項目、代替機能で7項目を満たし、カスタマイズは10項目とのことでした。

利用者もなれてきた様子

最後に、利用者がある館内に足を運んで、端末についてもお話を伺いました。資料検索や自動貸出機については、画



面や操作感が変わったため、最初はいくらか問合せがあったそうですが、最近は落ち着いてきたとのこと。利用者が一番が戸惑うのは、タッチパネルに触れてからの反応なんだそうです。以前の画面は、触ったときに反応するようになっていたのですが、新しいシステムは指を離すときに反応するのだとか。しかしこれは慣れの問題。最近では何事もなくご利用いただいているようです。

このほか、ホームページの検索では、以前からリクエストの多かった「スペースで区切って絞り込む」というスタイルが実現されています。ホームページの更新もCMS（ホームページを更新するシステム）の採用によって、職員が手軽にできるようになっており、こちらも経費削減に一役買っているとか。

当たり前に見える裏側に

一通りの説明を伺った後で、今回、一番大変だったことを質問してみました。その答は「以前からのデータを引き継いで、問題なくシステムを入れ替えること」というものでした。考えてみたら、確かに以前のように当たり前に出カードを使って、当たり前のように本を借りている自分たちがいます。返すときもそうです。職員の皆さんも特に不自由なく（というよりも以前より快適に）システムを活用している様子。

こういう、なにもごともない「当たり前前の状態」を実現するのに、驚くほどの知恵と時間と技術が使われているのだなと、あらためて思い至りました。「大変でしたね」と声を掛けると、担当の方からは「私たちは黒子ですから」との言葉。黒子さんたちのご苦労に報いるためにも、しっかり活用して、しっかり楽しみたいものです。



5月・6月 りぶら生涯学習ガイド

催しの予定は、変更や申込受けを終了している場合があります。詳細は主催者へお問い合わせください。

日時	イベント名	料金	問合せ先
5月2日(木) 13:30～15:30	“何でも聴いて・考える「岡崎シニア塾」”	無料	柴田 090-9268-1741
5月3日(金) 10:00～12:00	りぶら いきものみつけ隊	入隊希望者 500円	りぶらサポータークラブ 23-3114
5月5日(日) ① 10:00 ② 11:00	集まれ！音楽あそび隊。	1回 850円 6回分 4500円	NPO法人 音楽療法サポートセンター atumare_ongaku_asobitai@yahoo.co.jp
5月5日(日) 14:00～16:00	ワールドレクチャー (ペルー)	無料	りぶら国際交流センター 23-3148
5月7日(火) 18:45～	ひとりではできない読書体験 してみませんか？	無料	chou007@hotmail.co.jp 58-5549 (太田)
5月9日(木)～ 10月10日(木)	電話相談員養成講座 全10回	2,000円	文化活動推進課男女共同参画班 23-6222
5月9・23(木) ① 9:30 ② 10:15	沖縄三さんしん線をひいてみよう！	1回 500円	音楽のおもちゃ箱 nyamo_cha@zoho.com 080-3658-7081 (豊田)
5月10日(金) 10:00～12:00	夜泣き・寝ぐずり赤ちゃんケア講座	1回 2,000円	おかざきハッピー子育てP 090-1728-6592 (鈴木)
5月10日(金) 18:30～	マンスリー・イングリッシュ・サロン オーストラリア(全3回)	1,500円	成瀬陽子 090-1826-1149
5月10日(金) 10:00～11:30	お手玉作り、お手玉あそび	無料	あいちお手玉の会 080-3076-1754
5月11日(土) 13:30～16:00	土曜日みんなで遊ぼう会 ヨモギ団子作り	子供 600円 2人目 400円 材料費 200円	子育て応援「ポプラの会」 FAX55-4897 080-4227-2742 (吉田)
5月11・25(土) 10:00～12:00	男性の家庭参画応援講座 「パパと遊ぼうイクメン講座」全4回	材料費 1,000円程度	文化活動推進課 23-6222
5月14日(火) 10:00～11:30	お手玉作り、お手玉あそび	無料	あいちお手玉の会 080-3076-1754
5月14・28(火) 10:00～	きもの着付けとマナー講座(8回分)	8,000円	和文化サークルなどでして 090-5105-0518
5月16・23・30(木) 14:00～16:00	ことばの教室(フランス語)	500円	りぶら国際交流センター 23-3148
5月19日(日) 10:00～11:30	「狂言」調べる学習会	無料	りぶらサポータークラブ 23-3114
5月21日(火) 13:30～15:00	岡崎市はじめましてサロン	無料	りぶらサポータークラブ 23-3114
5月25日(土) 16:00～	りぶらサポータークラブ 平成25年度総会&懇親会		りぶらサポータークラブ 23-3114
5月31日(金) 10:00～12:00	図書館講座「ストーリーテリングにおいでよ！ボランティア養成講座」	無料	中央図書館 23-3111

日時	イベント名	料金	問合せ先
6月2日(日) ① 10:00 ② 11:00	集まれ! 音楽あそび隊。	1回 850円 6回分 4,500円	NPO法人 音楽療法サポートセンター atumare_ongaku_asobitai@yahoo.co.jp
6月9日(日) 13:30～	りぶらまつり説明会	無料	りぶらサポータークラブ 23-3114
6月9日(日) 13:30～	りぶら いきものみつけ隊	初回のみ 500円	りぶらサポータークラブ 23-3114
6月16日(日) ① 10:30 ② 14:30	長谷川義史ファミリーコンサート	大人 1,500円 小学生以下 1,000円	図書館交流プラザ 23-3100
6月18日(火) 13:30～15:00	岡崎市はじめましてサロン	無料	りぶらサポータークラブ 23-3114
6月20日(木) ① 10:30、② 14:00	シネマ・ド・りぶら上映会 『西部の男』	無料	りぶらサポータークラブ 23-3114

平成 25 年度 前期「りぶら講座」 が始まるよ!

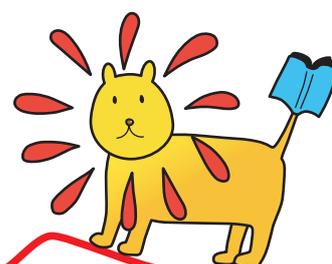
前期講座(6月～8月)の
受講者受付は5/23(木)から。
市民活動センターで受付けます。
TEL: 23-3114

人は教えることによって、
もっともよく学ぶ。

by セネカ

「りぶら講座」の目的

- ・りぶらでの生涯学習を推進すること。
- ・市民の皆さんの学びのきっかけをつくること。
- ・市民、団体、事業者が持つ「特技」を、市民の皆さんの学びに活用すること。
- ・りぶら施設の活用を進めること。



りぶらいおん©LSC



りぶら中央図書館情報

中央図書館 子ども図書室 おはなし会のお知らせ

中央図書館子ども図書室では、定期的におはなし会を開催しています。絵本の読み聞かせだけでなく、紙芝居やパネルシアターなどを取り入れることもあります。ぜひお越しください。



赤ちゃんからのよみきかせ
まいしゅう 火・木ようび
ごぜん 10じ50ぷん～11じ10ぷん
ごぜん 11じ20ぷん～11じ40ぷん
おはなしの森 ころころくまさん

お話とかみしばいの会
まいしゅう 月・木ようび
ごご 4じ～4じ30ぷん



3さいからのよみきかせ
まいしゅう 土ようび
ごご 2じ30ぷん～3じ
おはなしの森 ころころくまさん



がいこくごのよみきかせ
月に1かい 土ようび
ごご 1じ～1じ30ぷん
えいご、ポルトガルご、ちゅうごご
のローテーションで



ストーリーテリングにおいでよ！
まいつき だい4土ようび
ごご 3じ30ぷん～/…4じ
対象：5さいじょう
おはなしの森 まほうの豆 ほか

～今後の予定～

5月11日(土) ちゅうごご
6月15日(土) えいご
7月13日(土) ポルトガルご



レファレンス事例集

岡崎市立中央図書館でこれまでに受けた資料相談事例を紹介します。

質問	ミロのヴィーナスについて、全方位からの写真が載っている資料はないか？ また解説されている資料はないか？
回答	全方位となると資料としてありそうでもすぐには見つからない事例です。国立国会図書館のレファレンス協同データベース【 http://crd.ndl.go.jp/reference/ 】にて過去の事例を調べ、①「世界美術大全集4」②「ルーヴルとパリの美術」を紹介。また、検索結果より③「神の図形」、④「複眼のヨーロッパ美術紀行」を確認、その中の参考文献として掲載されていた資料の中から⑤「ギリシア美術襍稿」、⑥「ギリシア美術紀行」などを紹介しました。
キーワード	ミロ、ミロス島、ヴィーナス、ミロのヴィーナス
参考資料	①『世界美術大全集 西洋編4』小学館 1995年刊【W707.8セ4】 ②『ルーヴルとパリの美術』小学館 1987年刊【708.7ルW3】 ③『神の図形』秋山清／著 コスモトゥーワン 2004年刊【147カ】 ④『複眼のヨーロッパ美術紀行』鈴木久雄／著 新樹社 2008年刊【702.3フ】 ⑤『ギリシア美術襍稿』沢柳大五郎／著 美術出版社 1982年刊【702キ】 ⑥『ギリシア美術紀行』福部信敏／著 時事通信社 1987年刊【702キ】

内田修ジャズコレクション展示室 特別展示 VOL.10

「名盤を訪ねて - キャピトル」開催中

期間：平成 25 年 7 月 2 日（火）まで



ただ今展示紹介しているキャピトルは、1942年に設立、1950年代にはナット・キング・コールとフランク・シナトラの2大スーパースターを擁し、アメリカ国会議事堂（通称キャピトル）に星がめぐるロゴマークに象徴されるように、アメリカン・ポップスの黄金時代を築き上げました。現在もイーグルスやコールドプレイなど、世界的なポップスターのアルバムを手掛ける一大レーベルです。

展示では、スタン・ケントンやウディ・ハーマンといったバンドリーダーたちによる当時最先端のジャズ・アルバムや、ペギー・リーやダイナ・ショアなど、今では懐かしい女性ボーカリストたちのゴージャズなアルバムを中心に紹介しています。

一方で、マイルス・デイヴィスの「クールの誕生」やキャンボンボール・アダレイの「マーシー・マーシー・マーシー」など、ストレートなジャズの名盤もあり、内田修氏のジャズに対する思いの深さ・幅広い見識が感じられます。

担当：中央図書館企画班



私の一冊 vol.21

『ぼくのお姉さん』



丘修三／著 かみやしん／絵 偕成社

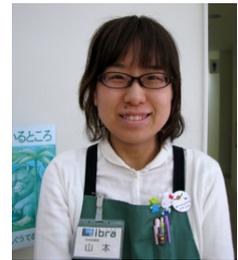
子どもの頃に読んだ本を大人になって読んでみると、当時は感じられなかった感情が湧いてくることがあります。子ども図書室で日々児童書に触れる私にとって、そういった場面は日常茶飯事です。みなさんは、子どもの頃好きだった本を大人になってから改めて読み直してみたことはありますか？

この本の著者・丘修三さんは、大学卒業後 25 年間養護学校の教諭として勤

務し、その後児童文学作家になられました。そのため、丘さんの作品には障がい児が登場するものが多数存在します。『ぼくのお姉さん』も例外ではなく、この本を構成する6つの短編すべてに障がい児が登場します。ここまで読んで、障がい者に優しくしましょうと、子どもに訴えかけるような内容の本なのだろうと思われるでしょうか。

ところが、この本はあくまで現実的です。周囲の人間が障がい児をいじめたり、障がい者である自分の家族を恥ずかしいと思ったり、身体や知能が不自由なのをいいことに障がい児に罪をなすりつけたり。誰もか“障がい者のことを理解し、いたわりの気持ちを持って接しよう”と思っはいるものの、実際なかなかそうはいかないのが現実です。

6つの短編の中でも、私は『歯型』という作品に強く衝撃を受けました。下校途中に偶然見かけた、足と言葉の不自由な障がい児に、ほんのいたずら



山本幸枝（やまもと さちえ）

中央図書館で、子ども図書室を担当しています。めがねがトレードマークです。児童書のことならおまかせください。

心でわざと足をひっかけて倒す賭けをした3人の少年たち。ある事件がきっかけで、彼らの悪事は学校を巻き込む騒ぎに発展するのですが、結末はなんとも嫌な気持ちになりました。と同時に、読んでいるうちに心の奥底をえぐられるような不思議な感覚に襲われるのを感じたのです。それだけ、この作品が人間の本性に忠実なのでしょう。

私は、この本を中学生の頃に読んだことがあります。当時は特別惹かれるものを感じることはなかったのですが、大人になった今の私にはかなりずっしりと響く内容でした。みなさんも、子どもの頃の思い出の一冊に再会してみませんか。



報告 !! 図書館交流プラザ・りぶら 愛知県第 18 回「人にやさしい街づくり賞」受賞

愛知県では、高齢の方や障がいのある方をはじめ、すべての県民が、あらゆる施設を円滑に利用できる「人にやさしい街づくり」を進めています。この取り組みをさらに広げるために、街の中にある誰にでも使いやすい建築物（「もの」）や、高齢の方や障がいのある方が気軽に外出できるための支援（「活動」）などを募集し、選考・表彰しており、これまで 17 回 143 件が受賞しています。平成 24 年度は県内から 30 件の応募があり、5 件が表彰され、りぶらは「もの部門」での栄誉を受けました。

<参照>

愛知県建設部ホームページ

<http://www.pref.aichi.jp/0000057645.html>

人にやさしい街づくり賞講評

<http://www.pref.aichi.jp/0000057261.html>



岡崎市の公共施設が受賞するのは、平成 20 年度の「岡崎げんき館」以来のことで、バリアフリーであることはもちろんのこと、図書館を中心に老若男女の幅広い層に利用され、一日過ごすことのできる場所として評価された結果です。

去る 3 月 1 日に行われた表彰式には、3 月議会中ということもあり、市長代理として課長の私（神尾）が出席しました。建設から携わり、今も運営に関わる身にとって、我が家が受賞した気分がうれしい出来事でした。

表彰の後、10 分ほどの施設紹介の時間がありましたので、

建設当時の話をしてもどうかと思い、最近の館内風景など、人にやさしい場面のスナップを写し、解説させていただきました。

高齢者や障がい者向けのカウンター回りの紹介だけでなく、「りぶらっこ」の「ちょい抱っこボランティア」や、読み聞かせボランティアさんの活動に、若いお父さんが参加していた様子、お堀通りに来ていたデイサービスの人たち、伊賀川のジョギングコースと川に過ごす鴨の夫婦など、受賞の内示を受けた後から撮りためた 20 枚ほどを紹介しました。りぶらを紹介するには全然足りない内容でしたが、後になって『「もの」と『活動』がある施設として、大賞候補とすべきだった』と、現地審査した選考委員に言っていただき、好印象を与えることができたようで、ほっといたしました。応募および説明には建設担当課の職員が対応したため、「審査の時、説明に入っていたらな」との後悔も少々。

一つの勲章ではありますが、やはり今後の運営が大事です。老若男女の市民の皆さんが、様々な活動や目的で訪れる『りぶら』ですので、今後とも賞に恥じないよう、人にやさしい施設として運営されるよう職員全員一丸となって頑張りますので、LSC をはじめ市民の皆さんもご協力をよろしく願います。また、やさしく見守ってください。

神尾：文化活動推進課（受賞時）



大藏流狂言「りぶら狂言教室・狂言鑑賞会」報告

平成 24 年 10 月 8 日に、奈良篠基会（ならしのきかい）の竹内寛代表に岡崎での狂言の公演を打診したところ、快く受けていただいた事から準備の始まった企画でした。協議の過程で、狂言に馴染みの薄い岡崎市民のために、狂言の説明や所作の体験など、カルチャー的な内容も踏まえての狂言鑑賞会を行うこととなりました。

また、今回のイベントの開催に伴う資金については、りぶらサポータークラブとして今後のことも考え、協賛金とチケット収入を充て実施することと致しました。

お陰様で、当初予定した協賛金収入の目処も立ち、ゆっくりながら前売りのみで当日の公演代の目処も立ち、無事 3 月 31 日を迎えることが出来ました。

3 月 31 日の当日は、18 時開場 18 時半開演にもかかわらず、演者の皆様は東京・京都・奈良から車で、16 時には全員集合し、当日の打合せの後、17 時から開場作りとなりました。18 時半からの公演では、観客の多くから笑いの絶えない素晴らしい時間を過ごすことができ、公演終了後も、演者との記念撮影など、

心から大藏流狂言「りぶら狂言教室・狂言鑑賞会」を楽しむことができました。

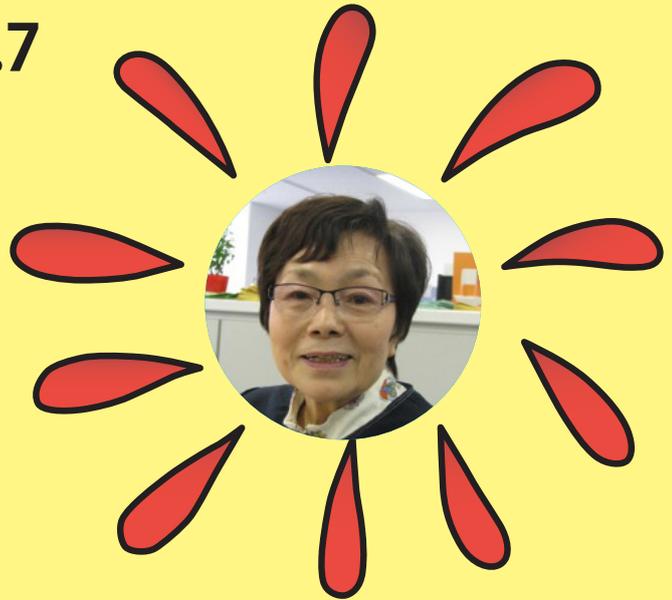


前売り券入場者数：196 名
当日券入場者数：14 名
招待券入場者数：34 名
合計：244 名 + スタッフ

りぶらサポーター紹介 vol.7

りぶらサポーター 村松美智子さん

村松美智子さんは、図書館交流プラザのオープンと同時に、市民活動団体の太極拳の講師として活動しながら、LSC 活動にも積極的に参加しています。



LSC に参加したきっかけは？

2008年に図書館交流プラザがオープンした際、太極拳教室を立ち上げる事になりました。そのときに、代表の山田さんや事務局長の戸松さんが親切に対応してくださったことにとても感動し、自分にも何かできることがあればと思い、サポータークラブに飛び込みました。

ご迷惑をお掛けしたこともあるかと思いますが、仲間に入れていただいたことで、りぶらのすばらしさをたくさん体験することができました。色々な経験を持っていらっしゃる方たちとの出会いは、私の心の財産になりました。

LSC に入る前のボランティア活動は？

ボランティアを初めて経験したのは、長男が小学校に入学した頃です。消極的な性格だったので、大勢の仲間に溶け込めるようにとボーイスカウトに入団させ、私もデンマザーとして4年間活動しました。子どもの卒業と同時にデンマザーもやめ、それ以後は仕事と両親の介護に頑張る生活が数年続きました。

LSC では主にどんな活動を？

中央図書館とLSCの協働事業になっている「シネマ・ド・りぶら」に関わっています。図書館で借りられるDVDをいろいろ観ながら上映作品の選択をしたり、上映会の当日では、サロンの設営やお茶菓子の準備をしています。

映画を鑑賞された方々が懐かしく思いを巡らせ、楽しそうに話に花を咲かせておられる姿は、私たちにとっても励みになります。

一昨年前までは運営委員として活動していましたが、夜の会議に出にくくなったので、昨年度からは一会員として「りぶらまつり」や「外国人のど自慢大会」

の当日のお手伝いを積極的にやらせていただいています。昨年からは始まった「りぶら講座」でも、太極拳の講座を務める傍ら受付のお手伝いもさせていただきました。もちろん興味があって参加した講座もあって、マージャン講座はとてもおもしろくて、はまってしまいそうです。運営委員としての3年間は、いろいろな方たちとの出会いや、今までできなかった経験をさせていただきました。LSCの活動には今までと同じように参加させていただいてますが、もっと若い方たちにも参加してほしいと思います。私と同じように沢山のひととふれあい、仲間を増やして欲しいですね。

LSC 以外での活動は？

りぶらのオープン以前から、げんき館で太極拳講座を行っています。18年続けてきた太極拳の良さを、もっといろいろな方にも知ってほしくて、今年からは、まちなか子育て支援の一環として康生町の店舗の空きスペースでオープンした「まざりん」でも、子育て中のママさんを対象に太極拳講座を始めました。「まざりん」には託児ルームがありますので、お母さんを待っているあいだ、子どもも楽しく過ごせます。

子育て中のママさんもぜひ、家から一歩踏み出してほしいですね。

一番思い出深い事は？

17年前になりますが、飛鳥新造船を記念した泊クルーズに参加したときの思い出が忘れられません。もう一度、一

Libra i on

週間くらいクルーズをしてみたいですね。海の上の広々とした空間や自分の存在をも忘れさせる時間は、もう一度体験したい私の夢です。

プライベートデータ

【空いた時間の楽しみ方は？】

太極拳に限らず体を動かすことが好きで、スポーツジムに通っています。プールで500m泳いだり、ジャグジーに入っ知らない方たちといろいろな話の花を咲かせるのが、とても至福の時間です。

【行きつけ・おススメのお店】

げんき館内の珈琲店の「はんなり」。時々打ち合わせで利用します。

【好きな食べ物】

- ・あんかけスパ
- ・ワイン

銘柄、産地にこだわらず、チョット甘口が好きです。つまみは肉以外なら何でもOK。

【宝物】

夫（共に支えあう日々）、長男、長女。孫3人は、いくつになっても成長が楽しみ。太極拳は元気のもと、心の支えです。

【自慢できること】

行動力、好奇心、健康。



市民活動団体紹介 「ワンボイス岡崎ゴスペル ♪」



歌うことは素敵なこと。立場や価値観が違っていても、みんなで作る歌声は人を一つにし、歌う人も聴く人も、すべての人が大きな幸せの塊となる。そんなグループになりたいと岡崎市民活動団体に登録し、市民サークルとして活動を始めました(2006年発足)。現在は20代～60代の主婦・パート・会社員・学生・子育てママさんなど、さまざまなメンバーが「りぶら」と南部地域交流センターで活動しています。

コンサートを開催したり、りぶらまつり・よりなんまつりをはじめ、地域イベントや慰問などに参加しながらユニセフなどにも寄付をしています。ボランティア活動を通じて、「生きることの素晴らしさ」をみんなまで分かち合えたらと願っています。



- ◆映画『天使にラブソングを』で
人気の高まったゴスペル！！
- ◆初心者もお子さん連れの方も♪
- ◆リズムにのって思いっきり、
お腹の底から歌ってみましょう♪



昼クラス無料体験会

日時：5月17日(金) 13:30～90分
会場：りぶら スタジオ1
練習日：月3回(5/10・31・6/7・14・21)
お子さん連れママ大歓迎♪ 子守有り

夜クラス無料体験会

日時：5月21日(火) 19:10～90分
会場：地域交流センター よりなん
練習日：月3回(5/14・28・6/4・11・25)
歌の好きな男性大歓迎♪

会場・日程の変更などありますので
必ずお問い合わせ下さいね♪



ワンボイス岡崎

090-8132-0120

